

フォンス・フローリス古楽院

2017年度 東京講座案内

講座は **3月** **4月** スタート *単発講座や講義もあります



フォンス・フローリス古楽院は、
西欧中世・ルネサンス・バロックの時代の音楽を、
主に歌のアンサンブルを中心として
実践する人たちのための学びの場です。
古い音楽にふさわしい発声の基本、記譜法、
声と声によるアンサンブル、言語の感覚、音楽史の知識、
そして古い音楽の持つ深い霊性と高貴な精神性を、
様々な楽曲を通して、ともに楽しみながら学んでいきましょう。

講師プロフィール



花井哲郎 フォンス・フローリス古楽院院長

古楽演奏家。早稲田大学第一文学部哲学専攻卒業後、アムステルダム・スウェーリンク音楽院にて、オルガンとチェンバロを学ぶ。ロッテルダム音楽院において合唱指揮と管弦楽指揮のディプロマを取得。ブラバント音楽院にて古楽声楽アンサンブルをレベッカ・ステュワートに師事。滞欧中、教会音楽家、合唱指揮者、鍵盤楽器奏者として活動し、またグレゴリオ聖歌の研究・演奏活動にも従事する。1997年に東京にてヴォーカル・アンサンブル カペラを創設、以来ルネサンス・フランドルの宗教作品の演奏を続ける。2005年には古楽アンサンブル コントラポントを結成、リーダーとして17世紀を中心としたバロックの宗教音楽演奏にも力を注ぐ。また、古楽をレパートリーとする管弦楽団、合唱団、声楽アンサンブルを指導、徹底した古楽の立場からの演奏・普及に努める。国立音楽大学講師。



辻康介

国立音楽大学楽理科卒、同大学音楽研究所修了。4年ほどイタリアに渡り声楽や演奏論を学ぶ。声楽を牧野正人、クラウディオ・カヴィーナらに、演奏論をディエゴ・フラテッリらに師事。1500年頃から1600年代初頭までのイタリア・ルネサンス音楽を中心に歌う。ソルミゼーションを実践するマドリガーレ専門の声楽アンサンブル「SESTETTO VOCALE」を主宰し歌う。モンテヴェルディ「オルフェオ」(宮城聡演出)や「オルフェオの冥界下り」(安田登構成・演出)のオルフェオ役。首都圏と名古屋や仙台で「辻康介の体感音楽史：中世の移動ド」講座開講、多くの受講生が集まっているほか、日本コダーイ協会、聖グレゴリオの家、日本合唱指揮者協会、日本合唱連盟、などに招かれソルミゼーション講座を開いた。アルテスWebOriginalにて「中世の移動ド事始め」連載中。



安邨尚美

大阪教育大学教育学部教養学科芸術専攻音楽コース卒業。その後フォントエース音楽院 (オランダ・ティルブルグ) 古楽声楽アンサンブル科にて、レベッカ・ステュワート氏の下、グレゴリオ聖歌からバッハのコラールに至るまでの様々な時代・地域の宗教曲・世俗曲とその歌唱法を学ぶ。2011年マスターディプロマ取得。また、同音楽院にて、ルイ・ビュスケンス氏に合唱指揮を学んだ。現在「ヴォーカル・アンサンブル カペラ」「ムジカ・セルペンティス」メンバー、「グレゴリオ聖歌を学び歌う会」主宰など、歌手・指導者・ヴォイストレーナーとして活動している。



望月裕央

洗足音楽大学声楽科卒業及び同大学附属合唱音楽研究所修了。キリスト教音楽、日本の唱歌童謡を中心としたソロ、アンサンブル、合唱声楽指導に力を注いでいる。声楽を宮原昭吾、グレゴリオ聖歌を橋本周子、合唱指揮を川名祐一の各氏に師事。「ヴォーカル・アンサンブル カペラ」メンバー、唱歌童謡を歌い継ぐ「ももたらう」主宰。現在聖グレゴリオの家宗教音楽研究所講師。

関根敏子

音楽学、音楽評論家。桐朋学園大学音楽学部作曲理論学科（音楽学）卒業後、フランス政府給費留学生としてフランス国立パリ高等音楽院（パリ・コンセルヴァトワール）に学ぶ。またチェンバロをスコット・ロス、トン・コブマン他の各氏に師事。帰国後、桐朋学園大学・早稲田大学・立教大学・昭和音楽大学講師を経て、現在は東洋大学・白梅学園大学各講師、音楽文献目録委員会事務局長。その他、新聞雑誌の評論など。NHK-FM番組「古楽の楽しみ」パーソナリティ。主要な著訳書に『古楽演奏の現在』（監修）、『西洋の音楽と社会:後期バロック』（監訳、2巻）、『ドメニコ・スカッラッティ』（いずれも音楽之友社）、A. ヘリオット著『カストラートの世界』（国書刊行会、共訳）、ドメル・ディエニー 著『演奏家のための和声分析と解釈:フォーレ』（シンフォニア、翻訳）、フランス古地図音楽散歩（連載、之潮）、『21世紀の音楽入門1～7（共著、教育芸術社）、リスト著「ショパン」（訳）他、多数。



撮影：関根基敬

櫻井元希

広島大学教育学部第四類音楽文化系コース、東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業。同大学院古楽科バロック声楽で修了。声楽を枝川一也、益田遙、河野克典、寺谷千枝子、バロック声楽を野々下由香里に、合唱指揮をアレクサンダー・ナジに、指揮を今村能に、古楽演奏を花井哲郎に師事。これまでに、ヘンデル「メサイア」、バッハ「ロ短調ミサ」「教会カンタータ」「マタイ受難曲」、モーツァルト「レクイエム」などのソリストを務める。Salicus Kammerchor 主宰。東京芸術大学バッハカンタータクラブ2013-2015年度演奏委員長。The Cygnus Vocal Octet、ジャパンチェンバークワイア、ヴォーカル・アンサンブル カペラ、古楽アンサンブル コントラポント、Vox humana等に所属。



渡辺研一郎

1990年生まれ。早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。東京藝術大学院音楽研究科修士課程音楽学専攻修了。グレゴリオ聖歌の初期の記譜法である「譜線無しネウマ」の研究論文により修士号（音楽）取得。ピアノを小倉郁子、志村泉、林苑子、E. D. ヴァイスハールら、クラヴィコードを高橋尚子、合唱指導法を笠置英史、グレゴリオ聖歌や計量記譜法による教会多声音楽の演奏法を花井哲郎、声楽を花井尚美の各氏に師事。ピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会、日本クラシック音楽コンクール全国大会ピアノ部門等上位入賞、入選。アルベルニューゲントコール、立教トリニティコール、行徳混声合唱団、常任ピアニスト。ヴォーカル・アンサンブル カペラ、メンバー。



講座紹介

🌿 いずれの講座も先着順に受け付け、定員に達し次第、募集を締め切ります。

春期集中講座 (この講座に限り入会金の必要はありません)

初めてのグレゴリオ聖歌

講師：花井哲郎

Gs

全2回

3月19日(日) 20日(月・祝) 10:00～13:00

一般:10,000円 学生:5,000円

単旋律の聖歌「グレゴリオ聖歌」は、西洋音楽の源泉、宗教的な典礼のための音楽であるだけでなく、芸術性の高い歌曲でもあります。この2日間の講座では、全くの初心者のために四線譜、四角譜の読み方、教会旋法、ラテン語の発音、典礼の形式などから始め、グレゴリオ聖歌の基本を学びます。またザンクト・ガレン修道院の写本に記された10世紀の楽譜である古ネウマにも触れます。どなたでも受講できます。



講座ではこのような楽譜を使います

初めてのルネサンス音楽

講師：花井哲郎

Rs

全2回

3月19日(日) 20日(月・祝) 14:00～17:00

一般:10,000円 学生:5,000円

15～16世紀の音楽は、オリジナルの写本ではすべて計量記譜法によって記されています。現代の楽譜とは異なっていて、その解読はルネサンス音楽の理解に欠かせません。この2日間の講座では、計量記譜法の基礎からスタートして、簡単なポリフォニーの楽曲を大判楽譜「コワイヤブック」を使って歌うまでを目指します。イザーク「インスブルックよ、さようなら」から始め、ビクトリアのモテットなどを練習します。

合唱の心得がある方なら、どなたでも参加できます。



🌿 通年の入門講座と歌唱実践講座は2018年2月12日(月・祝)のフォンス・フローリス発表会で演奏発表します。
(集中講座、発声講座、音楽史講義は発表なし)

ソルミゼーション入門

講師：辻康介

S

全3回

4月1日 4月8日 4月15日 土曜19:00～21:15

一般：10,000円 学生：5,000円

ソルミゼーションは「シ」がないドレミファソラの六音階による階名唱です。11世紀に考案されて以来18世紀末に至るまで実際に使われ、マシヨールやジョスカンはもちろん、モンテヴェルディやバッハもこの六音階名で歌っていました。この講座ではソルミゼーションで歌うための基礎を身につけることができます。そもそも旋律を早く正確に憶えて歌えるようになるために考案されたものなので、音程も正確になり歌が上手になるでしょう。また「旋法」の基礎でもあるソルミゼーションで歌うことで、旋法的な節回しがはっきりと見えてきます。計量譜は一見、頑固で言葉数の少ない師匠のようですが、ソルミゼーションで歌いかけると、たちまち、すべてを教えてくれる優しい先生になってくれます。ソルミゼーションは古の調べの秘密を解き明かし、「譜読み・音取り」の苦しみを「歌う」喜びに変えてくれる魔法の笛です。ちょっと頑張っただけでその笛を手に入れる旅の準備を始めましょう。

初めての中世音楽

講師：安邨尚美

Ms

全1回

3月12日 日曜13:00～17:00

一般：5,000円 学生：3,000円

中世音楽の演奏を聴いてみると、色々な疑問が湧いてきませんか？同じ曲のはずなのに、テンポもリズムも全く違っていたり、楽器が加わっていたり、全く別の曲に聞こえることもありますね。なぜ、そんなことが起こるのでしょうか。その秘密は楽譜にあります。そこで、当時の写本に残されたさまざまな楽譜を見比べ、実際に歌ってみながら、その秘密を解き明かし、音楽の歴史を辿ってみましょう。通年講座「中世の音楽 トロースとオルガヌムを歌う(M)」の導入編にもなっています。

入門講座(通年)

グレゴリオ聖歌入門

講師：花井哲郎 渡辺研一郎

Gn

4月8日 5月6日 6月3日 7月8日 9月9日
10月14日 11月11日 12月16日 1月13日 2月10日

全10回と発表会

土曜日10:00～12:30

一般：35,000円 学生：20,000円

グレゴリオ聖歌をその基本から学びます。主に実際にいろいろな曲を歌うことによって、その響きから聖歌に親しむ講座です。前期は様々な種類の聖歌を少しずつ一通り歌い、後期はミサのための聖歌に集中して練習します。演奏に際してザンクト・ガレン修道院の写本に記された10世紀の楽譜である古ネウマも参考にします。歌唱・合唱などの経験のある方ならどなたでも受講できます。

ルネサンス音楽入門

講師：花井哲郎 櫻井元希

Rn

4月8日 5月6日 6月3日 7月8日 9月9日
10月14日 11月11日 12月16日 1月13日 2月10日

全10回と発表会

土曜日13:30～16:00

一般：35,000円 学生：20,000円

ルネサンス音楽を、当時の楽譜で使われていた白色計量記譜法で歌う、初心者のための入門講座です。合唱団などでルネサンスの音楽は歌ったことはあるが、オリジナルの楽譜は使ったことのない方、古い音楽のア・カペラのアンサンブルは初めての方など歓迎です。ハインリヒ・イザーク Heinrich Isaac のモテットを教材として学びます。歌唱・合唱などの経験のある方ならどなたでも受講できます。

歌唱実践講座（通年）

グレゴリオ聖歌演奏法

講師：花井哲郎

アシスタント：安邨尚美

G

4月22日 5月13日 6月10日 7月1日 9月2日
10月21日 11月25日 12月2日 1月20日 2月3日

全10回と発表会

土曜日10:00-12:15

一般：35,000円 学生：20,000円

教会旋法に基づく単旋律のグレゴリオ聖歌は、10世紀頃からネウマと呼ばれる楽譜に記されるようになりました。当時の聖歌隊が言葉の意味と抑揚を生かしながら表情豊かに歌っていたことが、このネウマからうかがい知れます。この講座ではネウマを手がかりに主にミサ固有唱や聖務日課の聖歌の演奏法を、そのジャンルごとに歌いながら学んでいきます。グレゴリオ聖歌とネウマの基本を習得した方が対象です。

中世の音楽

トロースとオルガヌムを歌う

講師：安邨尚美

M

4月23日 5月21日 6月18日 8月6日 9月3日
10月15日 11月5日 12月3日 1月14日 2月4日

全10回と発表会

日曜日14:00-17:00

一般：40,000円 学生：23,000円

中世の教会音楽では、グレゴリオ聖歌が整備されたあと、その単声聖歌をさまざまな形で装飾していきました。トロースは、主に単旋律聖歌のキリエなどの長いメリスマ部分に注釈的なテキストを挟み込む、言葉による装飾。オルガヌムは対旋律をつけることによって多声化する、音による装飾です。この、トロースとオルガヌムを実際に歌いながら学びましょう。現在は使徒の祝日に歌われるミサ4番のキリエを題材に、シンプルな聖歌がトロースやオルガヌムによって華やかに彩られていく様子を、当時の写本を見ながら歌っていきます。



発声講座

合唱のための発声法

講師：望月裕央

V

水曜：3月8日 4月12日 5月10日 6月14日 7月12日 9月13日 10月11日 11月22日 12月6日 1月10日
木曜：3月9日 4月20日 5月18日 6月22日 7月20日 9月21日 10月19日 11月16日 12月14日 1月18日

レッスン時間帯：水曜14:00-21:00 あるいは 木曜14:00-17:00

受講料（全10回／一人につき）：個人 70,000円、2人 50,000円、3人 40,000円（前期後期の分割納入可）

いわゆる声を開発する独唱のボイストレーニングではなく、アンサンブル、合唱の中での発声のあり方を考え、試みる時間です。発声は指導者の数だけあるといっても過言ではありません。指導者が違えば要求される発声、正しい発声、価値観も違ってきます。この中で最大公約数的に妥当する発声を目指します。また聖歌隊など短い時間でのウォーミングアップが必要とされる場合の方法等、あくまでもレベルに合わせた「実践可能」なことを行います。初心者から指導の立場にある方まで、2年まで連続で受講が可能です。2人から3人のグループ受講が基本ですが、個人レッスンも受け付けます。1回40分、全10回のレッスンです。

ルネサンス音楽を計量記譜で歌う講座

今年のテーマはハインリヒ・イザーク Heinrich Isaac (1450/55?-1517) です。イザークはルネサンス時代の巨匠のひとりで、2017年に没後500年記念の年を迎えます。「インスブルックよ、さようなら」で有名ですが、数多くのミサ曲、モテット、また世俗歌曲を残しており、ルネサンスの巨匠ジョスカン・デ・プレと並び称された大作曲家です。イザークがグレゴリオ聖歌をもとにして作曲した壮麗なミサ曲と、ミサのためのモテットを、原曲のグレゴリオ聖歌と併せて学びます。それぞれ3時間の講座で、作品にじっくりと取り組みます。講座では計量記譜法によるコワイヤブックを用い、少人数による美しいアンサンブル演奏の実現を目指します。計量記譜法の基本を習得された方が対象です。記譜法が初めての方は春期講習をあらかじめ受講されるか、あるいは事前個人レッスンをお申し込みのうえ、受講してください。

ルネサンス音楽1 イザークのミサ曲

講師：花井哲郎

アシスタント：安邨尚美

R1

4月22日 5月13日 6月10日 7月1日 9月2日
10月21日 11月25日 12月2日 1月20日 2月3日

全10回と発表会

土曜日13:00-16:00

一般：45,000円 学生：25,000円

イザークはウィーンの宮廷などのために、グレゴリオ聖歌、あるいはオルガンの即興演奏と交互に歌うための素晴らしいミサ曲を多数作曲しました。復活祭のミサ、荘厳ミサ、天使のミサ、聖母のミサなどが4声から6声の作品として残されています。今回はその中から荘厳ミサを取り上げ、その元になったグレゴリオ聖歌、また単旋律の様々なミサ通常唱（キリエに始まる、いわゆるミサ曲）を併せて学んでいきます。聖歌とポリフォニーの関連を理解しながら、1楽章ずつゆっくり丁寧に練習していきます。

ルネサンス音楽2 イザークのモテット（ミサ固有唱）

講師：花井哲郎

アシスタント：安邨尚美

R2

4月29日 5月27日 6月24日 7月22日 9月23日
10月14日 11月18日 12月9日 1月27日 2月10日

全10回と発表会

土曜日13:00-16:00

一般：45,000円 学生：25,000円

ルネサンスの時代には一般的なミサ曲の他に、教会暦の主な祝日に固有の聖歌「ミサ固有唱」がポリフォニー作品として作られました。イザークは主にスイスのコンスタンツ大聖堂の依頼によって、ミサ固有唱を体系的に作曲しました。それを後に弟子のルードヴィヒ・ゼンフルがまとめ、補筆して出版された曲集が『コラーリス・コンスタンティヌス』です。この記念碑的な大曲集の中から、今回は主に洗者聖ヨハネの祝日のためのミサ固有唱（入祭唱、アレレヤ唱など）を、その原曲の単旋律聖歌と併せて練習します。比較的速いペースで進みますので、譜読みは事前に各自で済ませておくことが基本です。



ルネサンス音楽の曙

講師：花井哲郎

L

4月29日 5月27日 6月24日 7月22日 9月23日 11月18日 12月9日 1月27日 2月10日
全9回 土曜日10:00-12:00 受講料 一般:31,500円 学生:25,000円

ルネサンス音楽、主に15世紀の音楽史を学ぶ講座です。基本は英語による音楽史の著作 Reinhard Strohm 著 “The Rise of European Music:1380-1500” (約10,000円) を教科書として、講師が解説します。楽譜を見て曲を理解したり音源を聴いたりもしながら、多角的にアプローチします。このテキストを用いての講義は今年で4年目となり、本年度はいよいよ最後のpart 4、盛期ルネサンス音楽を国・地域ごとに詳細にたどります。新規の受講も可能です。

フランス・バロックの舞踏

講師：関根敏子

FB

4月22日 5月27日 7月1日 9月9日 10月21日 12月2日
土曜日 19:00-21:00

受講料 (茶菓代含む) 1回ごと 一般:4,000円、学生:2,800円 全6回通し 一般:20,000円、学生:14,000円

西洋音楽史のなかでも、とりわけ特徴的な「フランス・バロック音楽」の魅力あふれる世界を、スペシャリストがお話する楽しい連続講座です！今年度はバロック音楽の理解、そして楽しみのためには欠くことのできない舞踏について、フランス・バロックを中心にしながらも、その出発点となるルネサンス舞踏、また、純粋に器乐的な舞曲、組曲などにも触れて、映像や音源を用いながら多角的に舞踏の魅力を解説します。知られざる名曲に出会い、豊穡なるフランス・バロックの世界に触れることができる格好の機会です。講義後には、ワインや茶菓とともに歓談をお楽しみいただけます。

4月 22日	第1回	ルネサンスの踊りと舞曲 ～アルポーの舞踏教則本、アテニヤンの舞曲集など
5月 27日	第2回	フランスの宮廷と踊り ～国王や貴族たちが踊った舞台
7月 1日	第3回	踊りのステップと舞踏譜 ～ブーレ、メヌエット、クーラント等
9月 9日	第4回	舞台の踊りと音楽 ～フランス・バロック・オペラ
10月 21日	第5回	舞曲を並べた管弦楽組曲 ～晩餐や結婚式など祝祭の音楽
12月 3日	第6回	舞曲を集めた組曲 ～鍵盤楽器、室内楽

夏期合宿

指導：花井哲郎

8月11日 (金・祝) 14:00集合、12日 (土)、13日 (日) 15:00解散
受講料:20,000円

食事・宿泊費:実費 (2泊3日で約20,000円)

長野県原村の静かで美しい森の中にある、響きの良い木造の教会 (ハヶ岳中央高原キリスト教会) で、グレゴリオ聖歌とルネサンス音楽を学び歌う3日間の合宿を行います。ポリフォニーとしてはジョスカン・デ・プレの聖母ミサを練習する予定です。1日の講習の最後はグレゴリオ聖歌の「終課」を歌いしめくります。3日目の午前中にはジョスカンの時代と音楽についての講義があります。宿泊は教会近くのペンションで、夜の懇親会では受講生と講師も交えて楽しい親睦の時を持ちます。

費用

- ❖ **入会金** 受講にあたり入会金3,000円を申し受けます
※東京、関西いずれかで初年度一のみ
その後、別の講座を受講する際に再度お支払いいただく必要はありません
- ❖ **受講料** 4回までの分割納入も可能です（詳細はお問い合わせください）

複数受講の割引制度

- ❖ **セット割引** 通年の講座を複数受講される場合は**2講座目から学生料金**で受講できます！
（春期集中講座、発声講座、合宿は適用外）
- ❖ **夫婦割引** お二人合わせて、**一般料金+学生料金**で受講できます！（複数受講の場合は残りはすべて学生料金で！）

歌唱実践講座では

- ❖ 日本を代表するルネサンス音楽スペシャリスト花井哲郎の指導を直に受けられます！
- ❖ 各講座は毎月1回連続して行われ、継続的に、着実に学んでいけます
- ❖ 2018年2月の発表会は、いろいろな講座、アンサンブル、合唱団などが一堂に会し、楽しく賑やかに行われます！

どれを受講すればよいか迷った場合

- 🌿 古楽院は初めてで、とりあえず少しだけかじってみたい！
▶ **春期集中講座**が手軽！
- 🌿 グレゴリオ聖歌もルネサンス音楽もまだ全然よくわかってないけど、本格的に取り組んでみたい
▶ **入門講座**で基礎を学びましょう
- 🌿 計量記譜法は初めてだけど、ぜひ通年講座で歌いたい！
▶ **春期集中講座**も併せて受講！ ※春期講座に出られない方はご相談ください
- 🌿 古楽院は初めてじゃないけど、もう一度基礎からやり直したい
▶ **入門講座**で復習しましょう
- 🌿 あまり歌ったことがなく、声に自信がない…
▶ まずは**発声講座**！
- 🌿 歌わないけど音楽の勉強はしたい！
▶ **音楽史講義**でじっくり学びましょう
- 🌿 音楽も好きだけど、おいしいワインも飲んで楽しみたい(*^_^*)
▶ 講座「**フランス・バロックの舞踏**」

日程一覧（2017年3月～2018年2月）

講座・講義名	日時		回数	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
Gs 初めてのグレゴリオ聖歌	日 月祝	10:00～13:00	2	19日 20日											
Rs 初めてのルネサンス音楽	日 月祝	14:00～17:00	2	19日 20日											
S ソルミゼーション入門	土	19:00～21:15	3		1日 8日 15日										
Ms 初めての中世音楽	日	13:00～17:00	1	12日											
Gn グレゴリオ聖歌入門	土	10:00～12:30	10		8日	6日	3日	8日		9日	14日	11日	16日	13日	10日
Rn ルネサンス音楽入門	土	13:30～16:00	10		8日	6日	3日	8日		9日	14日	11日	16日	13日	10日
G グレゴリオ聖歌演奏法	土	10:00～12:15	10		22日	13日	10日	1日		2日	21日	25日	2日	20日	3日
R1 イザークのミサ	土	13:00～16:00	10		22日	13日	10日	1日		2日	21日	25日	2日	20日	3日
R2 イザークのモテット	土	13:00～16:00	10		29日	27日	24日	22日		23日	14日	18日	9日	27日	10日
M トロースとオルガヌムを歌う	日	14:00～17:00	10		23日	21日	18日		6日	3日	15日	5日	3日	14日	4日
L ルネサンス音楽の曙	土	10:00～12:00	9		29日	27日	24日	22日		23日		18日	9日	27日	10日
FB フランス・バロックの舞踏	土	19:00～21:00	6		22日	27日		1日		9日	21日		2日		
V 合唱のための発声法	水	14:00～21:00	10	8日	12日	10日	14日	12日		13日	11日	22日	6日	10日	
	木	14:00～17:00	10	9日	20日	18日	22日	20日		21日	19日	16日	14日	18日	

専門家のための特別講座

古楽院講座とは別に花井哲郎による専門家のための講座が毎月行われています。
興味のある方は古楽院までお問い合わせください。

計歌会

古楽演奏家、あるいは古楽に関心のある音楽家のための講座です。ルネサンス時代のさまざまな音楽を計量記譜の楽譜で歌っています。

FF古楽道場

主に音楽大学声楽科学生、あるいは卒業して間もない声楽家のための講座です。グレゴリオ聖歌を学び、ルネサンス時代のさまざまな音楽を計量記譜の楽譜で歌っています。現在は、2017年11月23日の演奏発表に向けてイザークの6声のミサ《いとも聡明なおとめ》Missa Virgo prudentissima を練習しています。

フォンス・フローリス古楽院 2017年度東京講座申込書

申込にあたっては、下の申込必要事項を、ファクス・電子メール・電話などでお知らせ下さい。折り返し申込受付の確認と、受講料の支払方法など詳細をご連絡いたします。受講料の学生割引、分割払いについてはお問い合わせください。
定員に達し次第、募集を締め切らせて頂きます。本申込書は、控えとしてお手元に保管をお願いいたします。

申込・問い合わせ先 窪田 m-kubota@fonsfloris.com

希望される講座／講義および内容をチェックして下さい

申込日 201__年 __月 __日

古楽院講座の受講は ☐ 初めて ☐ 過去に受講経験あり（どちらかにチェックしてください）

☐ Gs 初めてのグレゴリオ聖歌	
☐ Rs 初めてのルネサンス音楽（希望パート ☐ ソプラノ ☐ アルト ☐ テノール ☐ バス）	
☐ S ソルミゼーション入門	☐ Ms 初めての中世音楽
☐ Gn グレゴリオ聖歌入門	
☐ Rn ルネサンス音楽入門（希望パート ☐ ソプラノ ☐ アルト ☐ テノール ☐ バス）	
☐ G グレゴリオ聖歌演奏法	
☐ R1 イザークのミサ曲（希望パート ☐ ソプラノ ☐ アルト ☐ テノール ☐ バス）	
☐ R2 イザークのモテット（希望パート ☐ ソプラノ ☐ アルト ☐ テノール ☐ バス）	
☐ M トロースとオルガヌムを歌う	
☐ L ルネサンス音楽の曙（ ☐ テキスト購入希望）	
☐ FB フランス・バロックの舞踏	
☐ V 合唱のための発声法 ・ ☐ グループレッスン希望（ ☐ 2人 / ☐ 3人）*備考欄に氏名をご記入下さい ・ ☐ 個人レッスン希望 *第1希望 ☐ 水 / ☐ 木 *希望時間帯 ~ （各曜日の時間帯でご記入ください） *第2希望 ☐ 水 / ☐ 木 *希望時間帯 ~ （各曜日の時間帯でご記入ください）	
☐ フォンス・フローリス古楽院夏期合宿 参加希望	

ふりがな

お名前 _____

ご住所 〒 _____

電話番号 _____ ファクス _____

電子メール _____

備考欄 初めて受講される方は、音楽歴をお書きください。
※発声講座グループ受講の方はメンバーの氏名をお書き下さい。

講座の成果を披露します！
フォンス・フローリス発表会
2018年2月12日（月・祝）



発表会の様子

講座内容についてのご質問など、お気軽にお問い合わせ下さい

申込・問い合わせ先

窪田 e-mail m-kubota@fonsfloris.com

[申込方法] 裏面の申込書にご記入のうえ、お申し込みください。または申込内容をメールにてお知らせください。

* 会場は、古楽院（東急「祐天寺」駅から徒歩7分）、えびらホール（東急「旗の台」駅から徒歩6分）、または目黒区公共施設です。会場地図及びアクセス方法については、講座お申込み後にお知らせいたします。

フォンス・フローリス古楽院ウェブサイト <http://www.fonsfloris.com/k/>

講座の様子が判るブログはこちら！ <http://kogakuin.exblog.jp/>

フォンス・フローリス古楽院は関西でも開講しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。